

< 会 告 >

研修会名：第 164 回 岡放技セミナー

主 催：公益社団法人 岡山県診療放射線技師会

日 時：2026 年 9 月 5 日(土) 14:00- 17:00(受付 13:30～)

場 所：岡山済生会総合病院 管理棟 4 階 さいゆうホール
岡山市北区国体町 2 番 25 号

開催方法：集会および webinar(参加方法などの詳細は岡山県診療放射線技師会ホームページ <http://www.oart.jp/> を参照ください)

参 加 費：会員・学生は無料 非会員 2,000 円

お申込み：岡山県診療放射線技師会ホームページ事前参加申請フォームよりお申し込み下さい

後 援：岡山県(疾第 xxx 号)

＊岡放技セミナー研修会には「日本診療放射線技師会学術研修カウント」が付与されます

＊本セミナーの受講により岡山県生活習慣病検診等管理指導協議会肺がん部会の定める精密検診機関基準は満たされます

＊オンラインにつきましては何かしらの通信障害が発生する可能性がありますことをご了承ください

— プログラム —

14:00～14:05【開会挨拶】

14:05～14:50 令和 8 年度岡山県生活習慣病検診等管理者指導協議会 第 1 回肺がん部会研修会
【教育講演】

座長 岡山済生会総合病院 西山徳深 先生

岡山済生会総合病院 原裕樹 先生

『 Photon Counting CT と胸部領域 』

講師 岡山大学病院 井上智洋 先生

14:50～16:55 特別企画:育児も仕事も研究も ～それぞれのワークライフバランス～

座長 尾道市立市民病院 藤原佑太 先生

川崎医療福祉大学 杉本昂平 先生

【基調講演】 14:50～15:40

『 がんばりすぎずできることをこつこつとやってみる 』

倉敷中央病院 福永正明 先生

『 〈続ける〉をやっていく ～育児・仕事・研究、それぞれの両立 』

川崎医療福祉大学 荒尾圭子 先生

【特別講演】 15:40～16:20

『 私のワークライフバランス 認定や研究とどう向き合うか 』

徳島市民病院 西山由佳子 先生

休憩・会場準備

【パネルディスカッション】 16:30～16:55

モデレーター 藤原佑太, 杉本昂平

パネリスト 福永正明 先生, 荒尾圭子 先生, 西山由佳子 先生

16:55～17:00【閉会挨拶】

“Photon Counting CT と胸部領域”

/***** 井上先生よりメッセージ *****/



共働き核家族における2児の父親です。下の子の誕生日が JRC の開催期間に重なる事が多いのですが、今年は被らなかったもので久しぶりに参加させていただきました。

ITEM2026 では CANON と GE の Photon Counting CT のお披露目がありました。まだまだ広く普及するとは言えない現状ですが、ITEM2026 で見聞きしてきたことを交えながら紹介したいと思います。また Photon Counting CT では従来の再構成関数やノイズ低減処理に加えて、仮想単色 X 線画像のエネルギーの選択といった“画像の作りこみ”要素が多い装置で、何よりも後からいくらでも再構成できるという強みがあり、臨床への提供画像は工夫次第で色々なモノが出来上がります。

今回は画像処理も含めて胸部領域、とくに肺に注目して当院における Photon Counting CT の使い方を紹介したいと思います。

< 略歴 >

【学歴】

平成25年 4月 岡山大学医学部保健学科卒業

平成30年 3月 岡山大学大学院保健学研究科放射線技術科学分野修了

【資格】X 線 CT 認定技師、画像等手術支援認定診療放射線技師

【所属学会】日本診療放射線技師会、日本放射線技術学会、岡山県診療放射線技師会

【受賞歴】

令和5年11月 日本放射線技術学会 中国・四国支部 奨励賞

“がんばりすぎずできることをこつこつとやってみる”

/***** 福永先生よりメッセージ *****/



私は、2児(4歳と1歳)のパパです。仕事は、医工連携による業務改善活動を担っている医療イノベーション推進室と兼務をしています。研究活動は、年に一本の筆頭論文を投稿すること目標にしつつ、後輩技師の論文投稿を支援しています。学会等の外部委員は、線量管理や X 線 CT に関わる委員会、Radiological Physics and Technology Associated Editor 等を担っています。私は、2020 年に結婚し、その前後で生活スタイルが大きく変化し、研究や勉強の時間確保が難しくなってきました。一方で、職場や外部からは、様々な役割を担うようになりました。本講演は、私のこれまでの研究や経験を紹介し、現在の育児・仕事・研究に対する「がんばりすぎずできることをこつこつとやってみる」についてお話させていただきます。

< 略歴 >

【学歴】

平成 22 年 3 月 徳島大学医学部保健学科放射線技術科学専攻卒業

平成 29 年 3 月 県立広島大学大学院総合学術研究科保健福祉学専攻修了

令和 3 年 9 月 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科(博士後期課程)修了

【所属学会】

日本診療放射線技師会、日本放射線技術学会、日本 CT 技術学会、日本 X 線 CT 医学会、医用画像管理学会、医用画像情報学会、日本保健物理学会、医療の質・安全学会

【資格・免許・受賞歴】

平成 24 年 医療情報技師

平成 28 年 X 線 CT 認定技師、放射線管理士、放射線機器管理士

平成 29 年 ICLS 認定インストラクター、救急撮影認定技師

平成 30 年 日本 DMAT 隊員

令和 5 年 X 線 CT 専門技師

令和 7 年 画像等手術支援認定診療放射線技師

【委員会等】

厚生労働科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進研究事業)放射線診療の発展に対応する放射線防護の基準策定のための研究(細野班)(2022 年度～)

日本 X 線 CT 専門技師認定機構 将来構想委員会(2024 年度～)

日本保健物理医学会 医療被ばく国民線量評価委員会(2024 年度～)

日本放射線技術学会 放射線防護委員会(2025 年度～)

Radiological Physics and Technology Associated Editor (2026～)

“〈続ける〉をやっていく ～育児・仕事・研究、それぞれの両立”

/***** 荒尾先生よりメッセージ *****/



子育てをしながら働き、さらに研究や学会活動が続けていくことは、やりがいがある一方で、「時間が足りない」「思うように進まない」と感じる場面も多くあります。

特に診療放射線技師の研究活動は勤務時間外になることも多く、家庭・仕事・研究のバランスに悩みながら取り組んでいる方も少なくないと思います。本セミナーでは、子育てをしながら臨床・教育・研究活動に関わってきた経験をもとに、それぞれの立場や環境に応じた“続け方”についてお話しします。

完璧を目指すのではなく、周囲に頼りながら、自分なりのペースで続けていくことの大切さや、学術活動を継続しやすい環境づくりについて、一例としてお伝えできればと思っ

ています。

< 略歴 >

【学歴】

平成 20 年 川崎医療短期大学 放射線技術科卒業

平成 27 年 独立行政法人大学評価・大学授与機構 保健衛生学士取得

平成 31 年 岡山大学院保健学研究科博士前期課程 修了

【所属歴】

平成 20 年 倉敷成人病センター

平成 26 年 川崎医療短期大学

平成 30 年 川崎医療福祉大学

“私のワークライフバランス 認定や研究とどう向き合うか”

/***** 西山先生よりメッセージ *****/



日々の業務と家庭との両立に追われる中で、自己研鑽や研究などの付加的な取り組みに時間を確保する難しさを感じている方は多いのではないのでしょうか。私自身もその一人であり、限られた時間の中で試行錯誤を重ねてきました。仕事への向き合い方や家庭の比重は人それぞれであり、考え方も様々だと思います。

今回、この会にご参加いただける皆さまに、私の研究に対する思いや、認定技師としてのあり方について、自分なりの言葉でお伝えできればと考えています。また、うまくいかなかった経験談等を交え、少しでも身近に感じていただければと思います。

日々の臨床業務の中には、課題や疑問が数多く潜んでいます。私の研究は、そうした日常の気づきを出発点としています。課題解決への思いから生まれた着想が研究へと発展し、発信することで医療現場を少しずつ変えていく力になると思います。

この会を通じて、忙しい日々の中でも「挑戦してみようかな」と思えるきっかけを持ち帰っていただけると幸いです。

< 略歴 >

【学歴・所属歴】

2012 年 3 月 岡山大学 医学部保健学科 卒業

2012 年 4 月 岡山大学病院 入職

2015 年 3 月 岡山大学大学院保健学研究科 博士前期課程修了

2015 年 4 月 島根大学医学部附属病院 入職

2018 年 4 月 徳島市民病院 入職

2026 年 4 月 徳島市民病院 放射線科 主任主査

【資格】

第一種放射線取扱主任者、検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師、X 線 CT 認定技師、磁気共鳴専門技術者

